

大会宣言

安倍政治は「戦争法」施行により平和憲法をかなぐり捨てて、すべての国民を監視社会の下に置く「共謀罪」策定を力づくで目論んでいます。「共謀罪」は人権が限りなく制限され思想・信条、表現の自由を奪い反対の声を圧殺した「治安維持法」の現代版です。治安維持法の大政翼賛政治のもとで政治に対して声をあげられずに、子どもたちを戦場に送ることに協力してしまった痛恨の思いから誕生した教職員組合は「共謀罪」の創設を断じて許しません。私たちは「戦争法」廃止、「共謀罪」廃案の声をあげることをやめません。

安倍首相は「憲法に自衛隊を明記して2020年施行を目指す」と公言しました。国民は憲法9条改定を望んでいません。国会の憲法審査会での議論もされない中で、憲法尊重擁護義務を持つ首相の発言は異常です。東京オリンピック招致に固執し、その開催を口実に「共謀罪」創設や「憲法」改悪などは、オリンピックの政治利用であり、かつてのヒトラーがベルリンオリンピックを国威発揚に利用したと重なります。

国民の声を踏みつけ、政治を私物化する安倍政治は暴走の極みです。安倍政治が続くことは、国民にそれだけ不幸をつくり出します。私たちは声をあげ続けるとともに、安倍政治を許さない広範ななかまと連帯します。

教職員の長時間労働が社会的に認知され、新しい施策が講じられ始めました。「市町村教委の負担軽減検討委員会設置」「客観的方途による勤務時間管理」「ストレスチェック実施と職場改善」「割振り変更対象の拡充」「部活動適正化の通知と指導員配置」など、私たちの運動がつくり出した改善の流れです。しかし、一方で教育予算を投入して、教職員定数改善に踏み出さない教育行政の弱さともなっています。

「先生の笑顔は子どもの笑顔」というように、子どもたちの健やかな成長に教職員のいのちと健康は欠かせません。「格差と貧困」「貧困の連鎖」をもたらす政治をかえるとともに、少人数学級実施を含めた教職員定数改善の大運動をつくり出していく決意です。

改訂学習指導要領が告示され、小学校での英語科必修と授業時間増、「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニング)という指導方法にまで言及しています。そのうえ、来年度から道徳が教科となります。教育課程編成権は学校にあるという大原則にもとづき、今年度の道徳教科書研究と採択、改訂学習指導要領の伝達講習会に対して、主体的に対応することを確認しました。

また、地公法改悪にもとづく「評価と賃金」リンクを、教職員管理の手段にさせない不断のとりくみが大切なことも確認しました。私たちは、協同性と専門性にもとづき適切な相互批判で学校教育力の向上を目指しています。教育の管理統制を許さず、一人ひとりの教職員の主体的な学校教育活動への参画こそ大切です。

2017年度は組織建設3か年計画の最終年です。「財政確立および組織機構整備」も並行したとりくみは、組織拡大こそ埼教組の最大の運動課題であることを共通認識しました。共済加入は埼教組のすそ野を広げているとりくみであることを確認しました。定期大会に合わせた組織拡大報告は大会参加者に大きな勇気を与えました。青年組合員の職場でのとりくみも感動的でした。私たちは、これまでの加入者を歓迎するとともに、働くなかまを守り子どもたちの健やかな成長を願う組合員だからできる埼教組とその共済のとりくみを誇りに思います。さまざまな困難を全員の団結で乗り越え、埼教組結成70周年の今年に組織の拡大強化、教育と国民に大きな影響を与える安倍政治NO、子どもたちの健やかな成長のために、職場・地域で全力でとりくむことを宣言します。

二〇一七年六月三日